

【他の治療方法の有無及び内容、その治療における効果及び危険性の比較】

リハビリ

【内容】リハビリテーション専門医・リハビリテーション看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床心理士・義肢装具士・臨床工学技士・柔道整復師・ソーシャルワーカーなど多数の専門職の協業によって行われる病気や外傷が原因で心・身の機能と構造の障害と生活上の支障が生じたときに、個人とその人が生活する環境を対象に、多数専門職種が連携して問題の解決を支援する総合的アプローチ。

【効果および危険性】危険性はほとんどなく、脊髄損傷の治療としては、まずは第一の治療方法である。脊髄再生医療は単体で効果を発するものとは考えておらず、必ずリハビリが必要である。